

# 脱出用ハンマーの種類・使用方法をまとめたビデオの概要

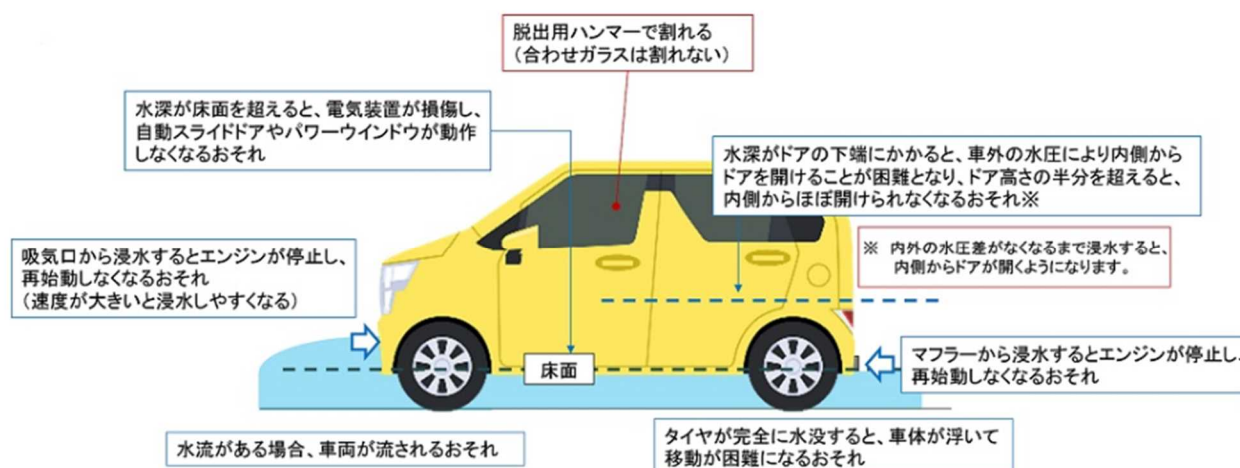
## —「水没時における脱出用ハンマー使用方法の注意点について」—

### 1. 水害時に冠水した道路を走行する際の危険性<sup>※1</sup>

水害時に冠水した道路を自動車で行く場合、車内への浸水によりエンジンやモーター等が停止して移動できなくなる危険性があります。

さらに水位が上昇すると、車外の水圧により、**内側からドアを開けることはほぼ不可能となります。**

車両が水没してしまった場合には早め早めに行動し、**水位が低い内に脱出することが命を守るために重要です。**

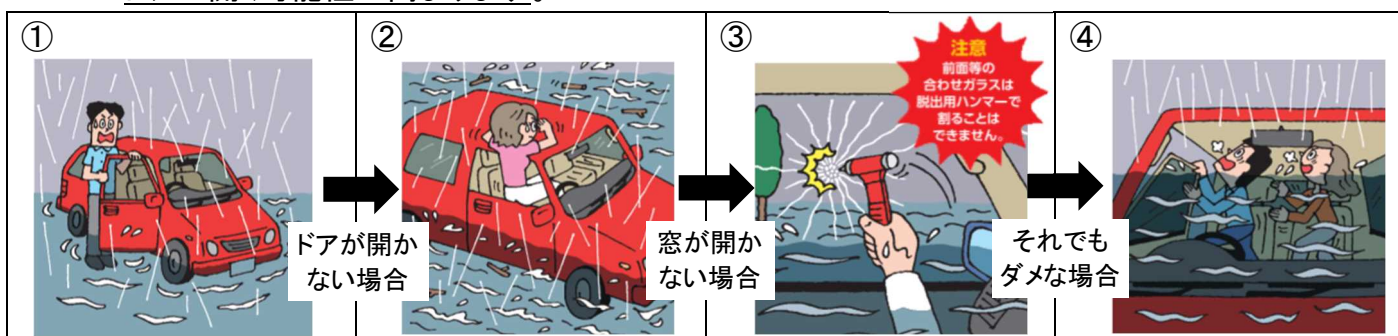


※1 「水深が床面を超えたら、もう危険！—自動車が冠水した道路を走行する場合に発生する不具合について—」  
<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001317806.pdf>

### 2. 水没した車両からの脱出手順

車両が水没した際には、以下の①～④の手順に沿って、速やかに車両から脱出してください。

- ① **水位が低いうちにドアを開けて脱出する。**
- ② **水圧等でドアが開かない場合、窓を開いて脱出する。**
- ③ **ドアも窓も開かない場合は、脱出用ハンマーで窓を割って脱出する。(ただし、**フロントガラスに使用されている「合わせガラス」は、割れません。**更に、一部の車種では、ドアガラスやリアガラスにも「合わせガラス」が採用されていることがあります。)<sup>※2</sup>**
- ④ **それでも脱出できない場合も、あきらめないでください。浸水により内外の水位が同程度になると、ドアが開く可能性が高まります。**



※2 水没時における実験・検証動画等(出典: JAF)

URL : <http://movie.jaf.or.jp/channel-1/?cat=cat3>

### 3. 脱出用ハンマーの種類・使用方法

脱出用ハンマーには、幾つかの種類があります。

種類によって使用方法が異なるため、使いやすいものをお求めください。

	金づちタイプ	ピックタイプ	ポンチタイプ
一 例	 <p>出典: 国民生活センター</p>	 <p>出典: 国民生活センター</p>	 <p>出典: 本田技研工業</p>
説 明	<p><b>金づちのように握って</b>先端で窓を叩き割るよう使用するハンマー。 シートベルトカッター等と一体型の製品もあります。</p>	<p><b>アイスピックのように握って</b>窓に叩き付けて使用するハンマー。 消火具や発炎筒と一体型の製品もあります。</p>	<p>先端を窓に押し当てることで<b>自動で先端が飛び出し</b>窓を破砕するハンマー。 このタイプの製品は突起物が内蔵されている。</p>
握 り 方			
破 碎 方 法			

## 4. 脱出用ハンマー使用時の注意点

### (1) 脱出用ハンマーでも割れないガラスについて

**「合わせガラス」は、脱出用ハンマーでも割れません！**

- 脱出用ハンマーは、サイドガラスやリアガラスに使用される「強化ガラス」用です。
- フロントガラスは、合わせガラスです**。また、一部の車種では、サイドガラスやリアガラスにも合わせガラスが使用されています。
- 脱出用ハンマーを購入する際は、販売店にご確認頂く等により、ご自身の車の合わせガラスの箇所をご確認ください。



合わせガラスであるフロントガラスにハンマーを叩きつけ破碎しようとする様子

### (2) 水と一緒に流れ込むガラス片に注意！

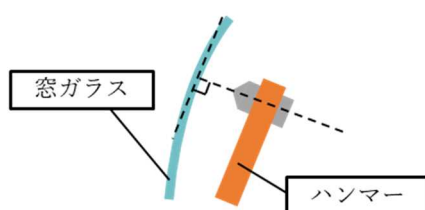
- 水面が窓の下縁以上に達した状態**で窓ガラスを破碎すると、割れた破片が水と共に車内に勢いよく流れ込む可能性がありますのでご注意ください。



### (3) 破碎のコツ・破碎した後について

- 先端が**窓ガラスに垂直に**ぶつかるように破碎してください。
- ハンマーで破碎した際、窓枠にガラスが残ることがありますが、ガラスの破片の角は丸くなっているため、怪我をすることなく手で簡単に振り払えます。

先端がガラスに垂直に衝突





## 5. 脱出用ハンマーの備付けのお願い

自動車の窓ガラスは、走行中の安全性確保のため、十分な強度を有しており、**専用の道具を使わず破碎することは困難です。**

自動車の窓ガラスを破碎する専用の道具である「脱出用ハンマー」は、自動車販売店、自動車用品販売店、ホームセンター、インターネット通信販売等において、3千円未満程度で入手することが可能です。

「命綱」として、**1台に1本、備え付けをお願いします。**



## 6. 脱出用ハンマーの選び方

### (1) 脱出用ハンマーの製品性能について

脱出用ハンマーの購入時には、JIS マーク<sup>※3</sup>や GS マーク<sup>※4</sup>など、性能を保証する表示がある製品のほか、販売店等が推奨する製品をお求めください。

JIS マーク	GSマーク	販売店推奨品
 <small>出典: 経済産業省</small>	 <small>出典: 国民生活センター</small>	

※3 自動車用緊急脱出支援用具に係る JIS 規格 (JIS D 5716) に規定された試験に適合していることが認定機関又は製造者等において確認された際、JIS マークを付けられます。

※4 GS マークはドイツ国内の任意の認証マークであり、ドイツの製品安全法 (ProdSG 法) にもとづいて検査され、正式に認定を受けた機関で安全性が認証された製品に付けられるものです。

### (2) 保管時の安全性について

- 突起部分にキャップ等が装着されている、保管時の安全性に十分考慮された製品をお求めください。
- いざという時、特にシートベルトが外れなくても手が届き、また走行中の振動などで、床面に転がったりしないような場所にしっかり収納しておきましょう。
- 脱出用ハンマーは小さなお子様の手に触れないよう、保護者の方は十分ご注意ください。

### 【脱出用ハンマーの備付け場所の例】

ドアポケット	アシストグリップ	コンソールボックス
		